

CHALLENGER!



秋田と東京 佐々木 隆 (ささき たかし) さん

### 鬼ごっこを通じた人づくり・地域づくり活動

秋田県の地域課題をテーマにした交流会で、一際目を引く参加者がいた。献血をライフワークにしていることから「献血ヴァンパイア」の異名で知られる佐々木隆さんだ。彼はこれまで242回の献血を行うなど、社会貢献意識がとても高く、秋田と東京を半年ごとに行き来する二拠点生活を送りながら、多様な鬼ごっこを軸に、遊びを通じた各地域の交流拠点づくりに積極的に取り組んでいる。

本インタビューでは、強い使命感と温かなまなざしで多彩な広域活動を行っている原点や想いに迫る。

### 「献血ヴァンパイア」の心を動かした鬼ごっこの魅力

佐々木さんがスポーツ鬼ごっこに出会ったのは2013年頃、東京で参加した交流イベントの名刺交換の場だった。それまで「献血ヴァンパイア」という肩書なら誰よりも強く印象づけられると自負していたが、「一般社団法人鬼ごっこ協会」と記された名刺を手にし、これは何だ？と強く興味を惹かれたという。

「〇で説明するより、近々代々木公園でイベントを開催するので見に来てませんか」と誘われ、興味半分足を運んだ。50代になって鬼ごっこをすることは思っていなかつ

たが、実際に体験してみると戦略やコミュニケーションが自然と生まれ、その楽しさは想像をはるかに超えていた。さらに、東日本大震災後という状況もあり、参加者同士が心地よく交流できるこの遊びの魅力が強く印象に残った。人々が自然に心を通わせ、楽しみながらつながることができる場所があることに気づき、その素晴らしさを広めたいという想いが芽生えたのだ。この体験こそが、地域でスポーツ鬼ごっこを広め、普及活動に取り組む原点となったのである。

# 仕掛ける遊び革命 「献血ヴァンパイア」が

## 老若男女で楽しむ 秋田発進化系鬼ごっこ

「スポーツ鬼ごっこ」は、7人対7人のチーム対抗戦で行い、自チームの宝を守りながら、相手チームの宝を奪うというルールで競うスポーツだ。醍醐味は、仲間と協力し、助け合いながら遊ぶところだという。地域によってルールは異なり、東京では年齢ごとに分かれるが、秋田では老若男女と一緒に遊べるオールジェネレーションルールにしているとのこと。その方がずっと面白いと佐々木さんは語る。

さらに彼は、独自の鬼ごっこをいくつも考案している。特に、遊びの中で他者との助け合いを学ぶことができる「防災鬼ごっこ」は好評で、彼も思い入れのある企画のようだ。

今後も秋田市を拠点に新たな鬼ごっこの開発と普及に力を注ぎ、遊びを通して新たな人と人とのつながりをつくり続けていく。



世代を超えて駆ける、秋田発の新しい遊び時間

## 半世紀続ける 献血と地域活動への想い

佐々木さんの名刺には「ソーシャル献血」と記され、半世紀続けてきた献血への想いが込められている。若い頃、免許センター前に来ていた献血車で献血したのが始まりだ。今では成分献血も行い、通算242回に達した。「献血は70歳まで。あと1年しかできないのが残念」と笑いながらも、これからは年間10人の仲間を集めたいと意欲を見せる。

佐々木さんは、鬼ごっこの普及や長年にわたる献血にとどまらず、実家を地域の交流拠点として活かす「実家価値向上プロジェクト」も推進し、秋田全体へ広げたいと考えている。

こうした多岐にわたる活動の根底には、自衛隊出身で地域に尽くした父の姿勢を受け継ぐ想いがある。「父のようににはできないが、地域に関わる気持ちは同じ」と話す言葉からは、人とのつながりを大切に強い信念が伝わってくる。



体を動かし気分も上昇！輪から広がる活力

### 活動詳細

スポーツ鬼ごっこを中心とした協働型遊びの普及、親子向け防災教育プログラムの実施、地域交流拠点の運営、ならびに献血啓発活動を展開している。遊びを通じたコミュニティ形成と社会貢献を両軸に、地域に持続的な学びとつながりの場を創出している。

- 活動名 スポーツ鬼ごっこ広め隊
- 活動エリア 秋田&東京
- 連絡先 kenketsu200@gmail.com
- 体験会 第1火曜日18時頃～/会場：光沼アリーナ（秋田県秋田市土崎港相楽町沼端77）



facebook

### 佐々木さんからひとこと

スポーツ鬼ごっこを一緒に広めてくれませんか？

遊びを通じて人がつながる場を、秋田でもっと広げたいと思っています！スポーツ鬼ごっこの魅力を共に伝えてくれる方を募集しています。

